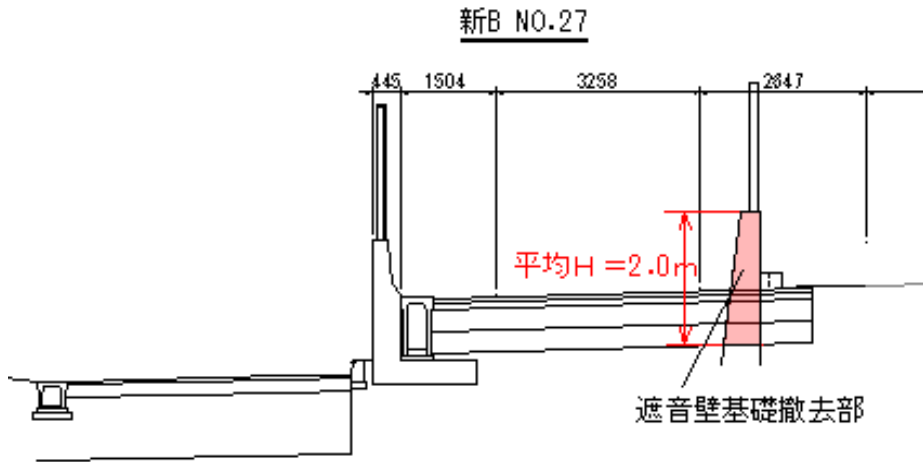


1	表題(課題)名	騒音防止対策と工程管理について	
2	工事(業務)名	R3紫竹山道路 南紫竹ランプ舗装工事	
3	受注者名	前田道路株式会社 北陸支店	
4	工期	令和4年1月28日～令和5年1月10日	
5	担当技術者(立場)名	監理技術者	(いわさき まこと) 岩崎 信
6	担当主任監督(調査)員	新潟・建設専門官	
7	課題区分名	⑨その他 (遮音壁撤去時の騒音問題と工程について)	
8	工事(業務)概要	国道7号新潟BPの紫竹山ICにおいて新発田方面への新設オンランプ舗装を施工した。	
9	<b>【施工における 課題・問題点 等】</b>		
	<p>当社施工区間は、国道7号で片側3車線の道路であり既存ランプからの進入もあるうえ、大型交通量が50000/日と全国1、2を争う交通量であり、普段から地域住民から騒音に関する苦情が多く発生している。そのうえ今回のランプ新設にあたり、既設遮音壁撤去時の騒音が発生するため、極力騒音が発生しない施工方法の検討が最重要課題となった。</p> <p>また、オンランプ供用開始が遅くても雪の降る前までと言われており1班の施工体制では工期的に厳しい状況であった。</p>		
10	<b>【実施内容】</b>		
	<p>当工事は、上記課題に対し施工時の騒音、振動はもとより、施工体制、作業時間、日当り施工量、工程管理、処分場の選定につき比較検討した。</p> <p>● ワイヤソーイング工法に係る主な施工数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイヤソーイング工法 施工区分B垂直 昼間施工 92㎡</li> <li>・ワイヤソーイング工法 施工区分B水平 夜間施工 70㎡</li> <li>・ワイヤソーイング工法 施工区分C水平 夜間施工 16㎡</li> </ul> <p>(・延長 L=203.8m 平均撤去高さH=2.0m)</p>		
11	<b>【実施結果】</b>		
	<p>上記次項を比較検討しワイヤソーイング工法を選択し施工した。施工体制は1班では予定供用開始までに間に合わないので、夜間2班体制にて施工する体制を整えた。遮音壁撤去時には、最重点課題である騒音防止の観点から、バックホウではなくラフタークレーンにて撤去、積込み作業を行った。処分場においても、夜間で大きいコンクリート殻を受け入れる工場がなかなか無かったのが現状であった。そこで、夜間処分場での積下し時にもラフタークレーンを使用し騒音を減少することで阿賀野アスコンの協力を得ることが出来た。また、現場周辺の住民に対し現場代理人が足繁く通ったため 住民と良好な関係を構築できた。</p> <p>上記の結果より、周辺住民からの苦情、事故もなく予定通りの供用開始ができた。</p>		

(様式—2)

【実施内容等】

○ 標準断面図



○ 既設遮音壁撤去時の施工順序

・ ①仮設防音壁の設置



・ ②コア削孔



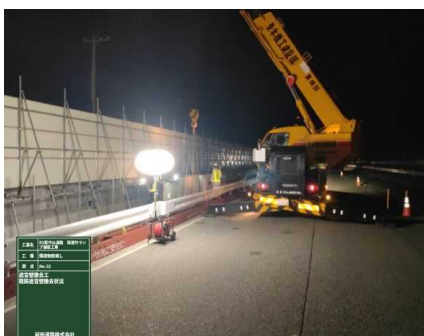
・ ③ワイヤーソーイング工法（垂直）



・ ④ワイヤーソーイング工法（水平）



⑤既設遮音壁撤去状況



⑥処分場での荷卸し状況

